

(3) 「技能五輪 in 愛知」から「技能五輪 in 山形」へ

■ 計画

- ・ 東北随一の「ものづくり県」である山形県は、山形大学工学部 OB をはじめ多数の人材を中京圏大企業製造業へ輩出し、それら県出身者のつながりをもとに両地域企業間の取引の拡大が図られている。
- ・ 一方、さらなる交流関係の深化には、本県への中京圏企業による進出が求められるが、そのためには、本県技術者の質・量をさらに増し、人材の面から立地先としての魅力を高める必要がある。
- ・ 上記背景を踏まえ、本県では 2016 年の技能五輪（アビリンピック）を誘致し、その開催が決定しており、同大会をひとつのターゲットとして、技術者の質・量を高める取り組みを開始したところである。
- ・ 技術者の育成には、技術レベルの高い企業や地域に学ぶ必要があり、日本随一のものづくり拠点である中京圏からの技能伝承が重要となるが、2014 年の技能五輪が愛知県で開催される。「技能五輪 2014 in 愛知」で日本一の技能を目の当たりにした青年や若手が、「技能五輪 2016 in 山形」を目標として、中京圏の一流企業の技術講師の指導や研修を受けその技術を磨く。この交流を通じて、山形名古屋便の利用増につなげる。

■ 実施状況

① 若手技能者「技能五輪 in 愛知」視察等支援

- 愛知県で開催された「技能五輪（平成 26 年 11 月 28 日～12 月 1 日）」及び「アビリンピック（平成 26 年 11 月 21 日～23 日）」に参加する選手、選手の所属する企業・団体関係者を対象とする山形＝名古屋便運賃助成を実施。2016 年の山形大会出場を目指す企業・選手候補の利用含め視察旅費を助成対象としたが、航空利用の場合はダイヤが合わず、前泊・後泊等が必要となるため利用は 5 人のみにとどまった。

② 若手機能者技術研修等支援

- 2016 年山形大会に向け選手を育成する企業等に対し、中京圏での技術研修の実施、県内での技術研修への中京圏からの技術者の招聘等を対象とする山形＝名古屋便運賃助成を実施した。

【助成内容】

航空運賃及び宿泊費の 2/3 または 40,000 円のいずれか小さい額

③ 技術研修会・中京圏企業訪問ツアーなどの開催支援

- 「やまがた技能五輪・アビリンピック 2016 推進協議会が、F D A 山形＝名古屋便での移動を伴う技術研修会・中京圏企業訪問ツアーなどを開催する経費について支援を行った。

④ 「やまがた技能五輪・アビリンピック 2016」の出場者への P R

- 平成 28 年 10 月 21 日～24 日技能五輪全国大会、同年 10 月 28 日～30 日開催の全国アビリンピックにおいて協賛を行い、公式スポンサーとして、事前の広告・C Mへ露出や大会期間中もパンフレットにロゴを掲載した。
- 企業から参加するという大会の性質上、1 人の参加者に対し 4～5 人の随行があったことから、大会期間中は満席の日が多く発生し、28 年 10 月は 2 便運航後最高の

利用者数（7,625人）人となった。

⑤ 全国的なイベント等での山形～名古屋便利用促進PR

- 平成28年10月18日の「第69回新聞大会 in 山形」において、山形～名古屋のPRを実施。中京圏からの利用は山形～名古屋便の利用が多くあった。

平成28年10月から開催される「国民文化祭・愛知」について、本県事務局担当課から関係団体にPRするとともに、愛知県への交通費助成（県担当課予算）を山形～名古屋便限定としたが、参加団体が少なく助成の利用はなかった。